



平成 30 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 サンケン電気株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 和田 節
コード番号 6707 (東証 市場第一部)
問 合 せ 先 財務 IR 統括部長 後藤 明弘
T E L (048) 487-6121

(訂正)「特別損失の発生並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正について

当社は、平成30年3月27日に「特別損失の発生並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」を開示いたしました。この中で、連結決算において第4四半期に追加計上する事業構造改革に伴う特別損失額についてお知らせいたしました。が、決算集計の結果、計上額に差異が生じたので、下記の通り訂正いたします。また、個別決算につきましては、第4四半期に追加計上する事業構造改革に伴う特別損失額が確定いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 訂正内容 (訂正箇所には下線を付しております。)

【訂正前】

1. 特別損失の発生

平成 29 年 10 月 25 日にお知らせしました通り、非戦略市場及び不採算製品からの撤退等の事業構造改革の実施に伴い、当第 2 四半期に特別損失として事業構造改革費用 165 億 31 百万円を計上いたしました。今般、更に撤退分野の見直し並びに棚卸資産の精査を行った結果、棚卸資産廃却を追加することとし、19 億 65 百万円の事業構造改革費用を特別損失として計上することといたしました。

【訂正後】

1. 特別損失の発生

平成 29 年 10 月 25 日にお知らせしました通り、非戦略市場及び不採算製品からの撤退等の事業構造改革の実施に伴い、当第 2 四半期に特別損失として事業構造改革費用 165 億 31 百万円を連結決算において計上し、個別決算において 184 億 37 百万円を計上いたしました。今般、更に撤退分野の見直し並びに棚卸資産の精査を行った結果、棚卸資産廃却を追加することとし、当第 4 四半期の連結決算において 19 億 35 百万円、個別決算において 18 億 98 百万円の事業構造改革費用を特別損失として計上することといたしました。

2. 業績への影響

上記訂正の内容につきましては、本日公表の「平成 30 年 3 月期決算短信」に反映しております。

以 上